



## 児島秀樹先生のご退任を惜しむ

中 田 勇 人\*

2024年3月をもって児島秀樹先生は本学を定年退職されます。本稿では先生のご退任に際し、一部ではありますが履歴と業績を紹介し、祝辞を述べさせていただきます。

児島先生は1976年、中央大学法学部を卒業

後、1981年、中央大学経済学研究科修士課程を修了され、1987年には博士論文「イギリス大西洋奴隷貿易史」により、中央大学から経済学博士を授与されています。

先生は1993年に情報学部経営情報学科専任講師として明星大学に赴任され、1997年には人文学部経済学科助教授に就任されました（2001年

---

\* 明星大学経済学部教授

より学部改編により経済学部経済学科助教授)。その後、2006年に経済学部経済学科教授に昇進され、27年間にわたって人文学部経済学科及び経済学部経済学科の研究・教育に尽力されてきました。この間、2019年～2020年度には経済学部経済学科主任に選出され、学科運営を主導されました。また長年、本研究紀要の編集委員長を務められ、経済学科の研究活動に大きな貢献をされています。

児島先生の研究業績は広範な分野にわたっていますが、その中心は大学院時代より研究されてきた大西洋奴隷貿易の歴史にあります。特に本研究紀要では奴隷貿易に関する論考を数多く発表されてきました。奴隷の問題は、現在でも欧米の経済関連の学会では活発な議論が行われている分野ですが、先生より少し年上の布留川正博氏（同志社大学名誉教授）が「私の大学院時代には、奴隷貿易を研究対象にする人は数人くらいしかいませんでした。」と述べているように<sup>1</sup>、先生は日本において奴隷貿易の研究がまだまだ少なかった時代からこのテーマに取り組んでいました。

こうした先生の業績は、広く読まれている「奴隷船の世界史」（布留川正博，岩波新書，2016年）のような本でも参照されています。一方、国際金融論を専門とする筆者は、専門外ではありますが「ダホメの宝贝通貨と奴隷貿易」（論文 [10]）のような通貨に関する内容を含む論考を興味深く拝読させて頂きました。

他方、先生は経済史について多数の教科書を執筆されるなど（著書 [1] ～ [4]）、経済史の教育に精力的に取り組んでこられました。さらに、近年では経済史を学ぶ学生を念頭に置いた

論文を多数執筆されています（論文 [18]、[21]、[22]、[23]、[24] など）。これらの論文は、経済史の立場から法、制度、思想の歴史の変遷を捉えようと試みており、研究者にとっても刺激的な内容です。

最後に、先生はパソコンが趣味とするほど詳しく、ご自身のWebサイトを運営されるなど教育にも活用されていましたが、経済史資料のデータベース化にも早いうちから興味を持たれ、複数の論文を執筆されています（論文 [2]、[4]、[5]）。

児島先生の豊富な学識からこれまで学生のみならず、周囲の教員も多大な刺激と恩恵を受けることができました。COVID-19の感染拡大が始まって間もない時期に、先生はオンライン・オープンキャンパスで「黒死病（ペスト）と社会変動」というタイトルで模擬授業をされ、歴史が現在の問題を考える力になることを示してくださいました。このような児島先生が、明星大学経済学部を去られることは大変残念ですが、長年に渉る経済学部の研究・教育への貢献に感謝すると共に、これからのご活躍とご健勝をお祈りしています。

### 児島先生の主な著書

- [1] 『経済史を学ぶ：工業化の史的展開』（共著）学文社，2007
- [2] 『西洋経済史のツボ』学文社，2010
- [3] 『経済史の種 I』学文社，2017
- [4] 『経済史の種 II』学文社，2017

### 児島先生の主な論文

- [1] 「16世紀後半のイギリスのギニア進出」中央大学大学院研究年報経済学・商学研究科篇第15号II-1, pp.31-42, 1986.
- [2] 「ハイパーテキストと歴史学」明星大学研究紀要. 情報学部第5号, 1997.

1 「奴隷貿易解明のための旅はつづく—『奴隷船の世界史』を書き終えて（新書余摘）岩波新書編集部B面の岩波新書（<https://www.iwanamishinsho80.com/post/galley>）

- [3] 「西洋から見た奴隷概念の予備的考察」 経済學論纂第39巻第6号, pp.71-87, 1999.
- [4] 「歴史資料の電子的保存と再利用 (1) - イギリス大西洋奴隷貿易の資料を利用して -」 明星大学経済学研究紀要第30・31巻 (合併), pp.44-45, 2000.
- [5] 「歴史資料の電子的保存と再利用 (2) - イギリス大西洋奴隷貿易の資料を利用して -」 明星大学経済学研究紀要第32巻第1・2号 (合併), pp.33-42, 2001.
- [6] 「イギリス奴隷貿易の廃止と宗派」 明星大学経済学研究紀要第34巻第2号, pp.11-25, 2003.
- [7] 「イギリス大西洋奴隷貿易擁護論」 明星大学経済学研究紀要第35巻第2号, pp.33-44, 2004.
- [8] 「イギリス大西洋奴隷貿易廃止のための政治経済学」 明星大学経済学研究紀要第36巻第1号, pp.1-18, 2004.
- [9] 「シエラレオネの大西洋奴隷貿易」 明星大学経済学研究紀要第36巻第2号, pp.43-57, 2005.
- [10] 「ダホメの宝贝通貨と奴隷貿易」 明星大学経済学研究紀要第37巻第1号, pp.19-45, 2005.
- [11] 「英国奴隷貿易廃止の物語」 明星大学経済学研究紀要第38巻第2号, pp.51-60, 2007.
- [12] 「英国奴隷貿易廃止の物語 (その2)」 明星大学経済学研究紀要第39巻第2号, pp.103-114, 2008.
- [13] 「経済学科におけるプロジェクト体験学習 (PBL) 導入の試み - その成果と課題 -」 (共著) 明星大学経済学研究紀要第40巻第2号, pp.49-63, 2009.
- [14] 「英国奴隷貿易廃止の物語 (その3)」 明星大学経済学研究紀要第42巻第1号, pp.1-12, 2010.
- [15] 「英国奴隷貿易廃止の物語 (その4) : ゾング号事件」 明星大学経済学研究紀要第44巻第2号, pp.21-30, 2013.
- [16] 「英領西インド植民地の奴隷制廃止と補償問題 (その1)」 明星大学経済学研究紀要第46巻第1・2号 (合併), pp.47-61, 2014.
- [17] 「英領西インド植民地の奴隷制廃止と補償問題 (その2)」 明星大学経済学研究紀要第47巻第1号, pp.45-61, 2015.
- [18] 「経済史入門の手引き」 明星大学経済学研究紀要第48巻第2号, pp.51-62, 2016.
- [19] 「17世紀のオランダの大西洋商業と奴隷貿易」 明星大学経済学研究紀要第51巻第2号, pp.31-46, 2019.
- [20] 「イギリス大西洋奴隷貿易前史」 同志社大学経済学論叢第71巻第4号, pp.81-106, 2020.
- [21] 「経済史から見た法制度の変遷: 序、先史時代」 明星大学経済学研究紀要第52巻第1・2号 (合併), pp.75-93, 2020.
- [22] 「経済史から見た法制度の変遷: 古代初期 (紀元前1130~前501)」 明星大学経済学研究紀要第53巻第1・2号 (合併), pp.5-31, 2022.
- [23] 「経済史から見た法制度の変遷: 古代中期 (紀元前500年~後130年)」 明星大学経済学研究紀要第54巻第1号, pp.43-67, 2022.
- [24] 「経済史から見た法制度の変遷: 古代後期 (131年~760年)」 明星大学経済学研究紀要第54巻第2号, pp.15-33, 2023.